

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

<新田川E 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

<新田川E 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R4.6.16	13:45	13:55	19.0	18.9	砂	10YR4/2	無	0.55	>50		

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R4.6.16	13:45	7.2	<0.5	2.4	9.4	7.3	0.04	0.9	3	2.2	N. D. (0.0015)	0.020	0.0013

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R4.6.16	13:55	7.2	491	21.5	1.0	1.6	2.680	1.6	9.9	74.5	9.5	1.3	3.2	0.52	9.5	9.1	280	0.15

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	R4.6.20	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0051	—	—	—	78	N. D. (13)	78	—	
					藻類・植物	接合藻	ホシドモ	ホシドモ	<i>Spirogyra</i> sp.	アオミドロ属	—	0.30	—	—	—	—	23	N. D. (1.1)	23	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	20	0.0079	幼虫	—	—	—	58	N. D. (5.3)	58	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	62	0.031	幼虫	—	—	—	10	N. D. (1.9)	10	—
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	41	0.81	成体	—	—	—	28	N. D. (1.6)	28	3.4
					節足動物	軟甲	エビ	ナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	25	0.026	成体	—	—	—	9.9	N. D. (1.6)	9.9	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	81	0.019	未成体/成体	—	—	—	18	N. D. (2.4)	18	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	39	0.20	未成体	—	—	—	27	N. D. (1.2)	27	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	2	0.58	成魚	不明消化物	—	—	22	N. D. (2.1)	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	3	0.085	未成魚	—	—	—	17	N. D. (1.6)	17	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	8	0.22	未成魚/成魚	—	—	—	20	N. D. (1.4)	20	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	61	0.18	未成魚/成魚	—	—	—	14	N. D. (1.5)	14	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	6	0.044	未成魚	—	—	—	14	N. D. (1.4)	14	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	20	0.26	未成魚/成魚	不明消化物	—	—	14	N. D. (1.3)	14	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.030	成魚	—	—	—	21	N. D. (4.1)	21	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	3	0.011	未成魚	—	—	—	26	N. D. (4.1)	26	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	4	0.0090	未成魚/成魚	—	—	—	19	N. D. (4.0)	19	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	4	0.053	成魚	—	—	—	22	N. D. (2.9)	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	78	0.97	未成魚/成魚	—	—	—	33	N. D. (1.6)	33	0.16
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	18	0.059	未成魚/成魚	—	—	—	22	N. D. (4.2)	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	3	3.5	成魚	アメリカザリガニ、スジエビ	—	—	56	N. D. (1.5)	56	0.61
					脊椎動物	頭甲	ヤマトナギ	ヤマトナギ	<i>Lethenteron reissneri</i>	スナヤツメ	13	0.057	アノモンテス幼生	—	—	—	57	N. D. (3.9)	57	—
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	9	0.037	幼生 (オオシノボリ)	—	—	—	180	N. D. (6.6)	180	—
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	2	0.69	成体	—	—	—	16	N. D. (2.0)	16	—
					脊椎動物	両生	無尾	トキマカガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	トウキョウダルマガエル	3	0.023	成体	—	—	—	15	N. D. (1.7)	15	—
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.24	—	—	—	—	—	—	—	113.2	3.2	110	—		

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。